

南大西洋ブラジル沖 リオグランデ海膨の海底にて 大陸の痕跡と思われる 花崗岩を確認

QUELLE2013ブラジル沖航海(YK13-04 Leg1)において、大西洋海底で大陸の一部とみられる花崗岩を確認しました。今回の確認は、リオデジャネイロの南東約1,500kmにあるリオグランデ海膨の「granite(花崗岩)」サイト、水深約910m。花崗岩は大陸などの陸地を構成する岩石で、その存在は大昔(数千万年前)に陸地であったことを示唆しています。今後、採取試料の年代測定等により、リオグランデ海膨の成因の解明が期待されます。



- [生命の限界に迫る「しんかい6500」世界一周航海 QUELLE2013](#)
- [有人潜水調査船「しんかい6500」特集サイト](#)
- [\[2013年5月7日発表プレスリリース\]](#)
[有人潜水調査船「しんかい6500」世界周航研究航海について\(経過報告\)](#)
[～ブラジル沖 リオグランデ海膨・サンパウロ海嶺での調査～](#)